



# 小城市立歴史資料館 \* 中林梧竹記念館だより

## 令和3年度「むかしの道具にみるくらしのうつりかわり展」を開催中

昔の生活道具を展示し、現代との生活の違いについて考えるくらしのうつりかわり展を開催中です。

- ◆期間 ~2月27日(日)
- ◆場所 歴史資料館 企画展示室内
- ◆観覧料 無料



▲小学3年生の授業を対象にした見学会の様子

## 収蔵刀剣展第四弾 開催中

- ◆期間 2月24日(木)~3月20日(日)
- ◆場所 歴史資料館 常設展示室

### 小城の歴史講座

刀を題材にした小城の歴史講座を併せて開催します。講師は研ぎ師としてご活躍中の今川泰靖しまがわひろやすさんです。

- ◆演題 「刀剣の見方」
- ◆場所 歴史資料館 研修室
- ◆日時 3月5日(土) 14時~
- ◆入場料 無料(先着25人で要予約)

※新型コロナウイルス感染症の状況により変更となる場合があります。



前回の様子▶

## おぎの歴史探検隊

### よしだげ 辰巳栄一(たつみえいち) 吉田茂を陰で支えた辰巳栄一(その2)

辰巳栄一は昭和11(1936)年、駐英大使館の駐在武官に抜擢され、2度目のロンドン勤務へ渡航します。その船旅で知り合った若いビジネスマンの名は白洲次郎しろすまじろう。ロンドンに到着し辰巳が大使館に行くと、なんとそこにいた白洲が、大使の吉田茂に紹介してくれました。実は白洲と吉田は旧知の仲で、ここから三人の長い交友が始まります。

当時、欧州ではヒトラー率いるドイツが台頭、日本でも陸軍は親独派が大勢を占めていました。吉田大使は日独の接近に強く反対し、辰巳もまた彼の考えに賛成でした。日本がドイツと結べば、英国や米国との関係が悪化するからです。

昭和15(1940)年、日本はついに日独伊三国同盟を締結。陸軍内で孤立しながら、反対を唱えた辰巳の挫折でした。しかし欧州の戦乱のさなか、駐在武官として3度目のロンドンに赴いた辰巳は情報収集につとめ、ドイツの勝利が困難なことを本国

に報告します。彼が恐れたのは日本がドイツ側に巻き込まれ、英米との戦いに突き進むことでした。

それでも昭和16(1941)年、米国からハル・ノートを突き付けられた日本は、とうとう宣戦布告をし英米との戦争に突入してしまいます。(続)

小城郷土史研究会/著



▲ロンドンの象徴「ビッグ・ベン」

◆開館時間 9時~17時 ◆休館日 毎週月曜日・祝日 小城市ホームページから 梧竹・歴史資料館・文化財 検索  
【問合せ・申込み】 歴史資料館 文化課(桜城館2階) 担当 下川・永田 ☎71・1132